

2019年10月1日
公益財団法人渋谷育英会

中国・貴陽 第4回日本語作文スピーチコンテスト特別協賛について

2019年9月28日、貴州大学において開催された公益財団法人小丸交通財団、広島大学、在重慶日本国総領事館並びに貴州大学の共催による「第4回上海日本語作文スピーチコンテスト」に特別協賛しました。

今回のコンテストは、テーマを「ビッグデータと交通」とし、貴州省及び周辺地域の5大学59人の学生の応募があり、その中から選出された優秀賞受賞者5人がコンテストに出場しました。会場には、日本語を学習する学生や日本語教員など約100人の聴衆が集まりました。

コンテストの冒頭には、公益財団法人小丸交通財団の小丸成洋理事長及び貴州大学の王晓梅外国語学院院長から開会のご挨拶を賜りました。続いて、来賓として在重慶日本国総領事館の斎藤憲二副総領事からご挨拶を賜りました。

コンテストでは、優秀者5人のスピーチが披露され、最優秀賞には「ビッグデータを活用することにより、交通渋滞の緩和、交通事故における迅速な救急活動が可能となるなど、私たちの生活ニーズに応える様々な可能性を持っている。進歩を遂げた明るい未来を実現していきたい。」とスピーチした貴州民族大学の李木蘭さんが選ばれました。最後に、広島大学森戸国際高等教育学院 本田義央教授から閉会のご挨拶を賜りました。



(第4回貴陽日本語作文スピーチコンテスト記念撮影)